

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 設置基準上は適切ですが、職員の人数や活動内容によっては、狭く感じることもあるので、各部屋の使い方を工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 配置基準4：1のところ、2.5：1もしくは2：1の職員を配置しています。(15名定員で4名配置のところ、2～3名加配。)
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 2階に上がる手段は階段しかありませんが、階段は低い手すりもあり、子どもたちが昇り降りしやすいようにしています。廊下等も、段差のない構造になっています。 エレベーターがないので階段の昇降が困難な場合は、介助を要します。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 常勤スタッフは会議などで常に振り返りを行い、改善に努めています。 運営に関しては月に1回の管理職とリーダー職員の運営会議にて、お子さんの支援に関しては月に2回の教室会議や年に2回の支援会議にて検討を行い、次回に実施報告と評価、再検討等をして、業務改善に繋がっています。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して、事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 毎年秋ごろに実施し、年度末の保護者会にて報告と回答を行い、業務改善に繋がっています。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 自己評価、保護者向け評価を実施し、会議で結果を振り返り、改善の必要性の有無や内容を検討しています。その結果を保護者会やホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価による外部評価は行っていません。次年度からの実施を検討しています。
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 発達や支援に関する研修の機会をなるべく多く持つようにはしています。法人では階層別研修や所内研修を実施しています。積極的に外部研修へも派遣し、個々の支援や福祉に関する知識やスキルの向上に努めています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 支援計画作成時にご家族の意向調査を行っています。その後、お子さんたち一人ひとりに対して会議を開き、複数人で話し合いながら個別支援計画を作成しています。

適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	○		・支援計画作成時には支援会議を設け、一人ひとりに合った支援内容を設定しています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画を振り返りながら、一人ひとりの支援計画に沿った活動や関わり方を行っています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動の題材はグループリーダーが、細かい活動内容はその日の活動リーダーが提案するなど、チームで協力して行っています。
	⑭	活動プログラムが固定しないように工夫しているか。	○		・発達段階に応じて、活動内容を工夫して色々な経験が出来るようにしています。 ・「いつもと同じ」が安心したり、見通しが持ちやすかったりするお子さんも多いので、同じ遊びを繰り返すことでの積み上がりも大事にしています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか。	○		
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをして、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		・朝のミーティングで活動内容や分担、またリスクマネジメントについても確認し合っています。送迎や時間差出勤でミーティングに参加出来ない職員については、伝達用のメモを残して、伝達漏れが出ないよう配慮しています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		・毎日、支援後のミーティングでその日の内容について振り返り、情報を共有したり、支援内容の改善を行っています。また、ヒヤリハットの報告も行い、リスクマネジメントに努めています。ミーティングに参加出来ない職員については、記録を残して確認してもらっています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・利用者全員の支援記録を取っていますが、各活動ごとの記録のほか、食事や排泄、保護者からの連絡等についても記入しています。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		・半期に一回モニタリングを行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		・今年度は障害児相談支援事業所のサービス担当者会議の機会がありませんでした。	

関係機関や保護者との連携	⑳	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○		・必要に応じて保健師や子ども家庭支援センター、市川市発達支援課等と連絡をとっています。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。		○	・現在該当するお子さんの利用はありません。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。		○	・現在該当するお子さんの利用はありません。
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・移行先に利用期間中の支援内容について、資料を作成し、情報提供を行っています。その上で、必要があれば電話や訪問で説明を行い、サポートしています。
	㉔	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・スマイルプランを作成し、保護者を通して、就学先の小学校や支援学校に情報提供を行っています。その上で、就学先を訪問または電話で連絡をとり、直接やりとりを行ったり、必要に応じて「成長のあしあと」などをお渡しして引継ぎをしています。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。		○	・市内の児童発達支援センターとは定期的に情報共有を行っています。 ・公立の児童発達支援センターが主催している研修には職員が参加しています。
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。		○	・特定の保育所や幼稚園との交流は行っていません。法人の地域貢献公益事業のおもちゃ図書館を開催し、地域の乳幼児のお子さんやご家族に利用していただき、児童発達支援事業の利用者さんもお誘いしています。
	㉗	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	・市川市自立支援協議会本会、子ども部会、相談支援部会、基幹相談支援センター運営協議会に幹事または委員として参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を家族と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について、共通理解を持っているか。		○	・毎日の連絡帳や送迎時に日々の状況を伝えあっています。必要に応じて電話連絡や訪問も行っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る視点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。		○	・ペアレントトレーニングを実施しています。今年度は6家庭にご参加いただきました。
	㉚	運営規定、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか。		○	・契約時に説明を行い、ご理解をいただいています。

保護者への説明責任等	③②	児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援ガイドラインの内容については、各自確認していただくように厚労省のURLをご案内しています。支援計画の作成時、変更時は、必ず支援内容の説明を行い、同意を得るようにしています。
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 毎日の連絡帳以外にも、相談が必要な時は電話や面談等で対応し話しを伺ったり、必要に応じて助言等を行っています。また、半期に1回は個別面談を実施し、子育ての悩みや困りごとについて話を伺い、助言や支援をしています。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 保護者会やお話し会等を開催し、保護者同士の顔合わせや懇談の場を設けるようにしています。機会としては少ないため、今後はご要望をお伺いして、どのような場や頻度が適切なのかを検討し、実施していきます。 父母の会はありません。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に、迅速かつ適切に対応しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 相談や苦情体制を整備し、保護者には周知しています。相談や申し入れがあった場合は、速やかに対応を検討し、納得や了解をいただけるように努めています。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 毎月教室のおたよりを発行し、行事や活動内容の紹介をしています。
	③⑦	個人情報の取り扱いに十分注意をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の取り扱いガイドラインに基づいた対応を行っています。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 教室の行事には招待していませんが、おもちゃ図書館を実施し、地域の方に利用していただいています。広く周知はされていないため、方法を検討し、多くの方に利用していただきたいと思っています。
非常	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> マニュアルの内容を保護者に周知していません。訓練は、感染症対策については行っていますが、まだマニュアル化されていないものは整備を進めています。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 月に1回、法人の防災計画に則った防災避難訓練を行っています。年に3回は、児発センター出火想定避難訓練を実施するようにしています。
	④⑫	事前に、予防接種や、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 契約時のインテークの際に服薬や発作、アレルギーの有無を確認し、必要に応じて対応を検討しています。

時の 対応	④③	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食物アレルギーのある子どもについては、保護者から医師の指示書の内容を確認し、状態に合わせた食事提供を行っています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所 内で共有しているか。	○		・日々の支援後のミーティングでヒヤリハットを報告し、その内容を記録に残しています。また、月に一度、報告内容の分析とリスクマネジメントを行っています。
	④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を 確保するなど、適切な対応をしている か。	○		・虐待防止、権利擁護の外部研修に職員を派遣し、所内で伝達研修を実施しています。また、定期的に会議にて、権利擁護に関する題材を用いた意見交換を行っています。
	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束 を行うかについて、組織的に決定して、 子どもや保護者に事前に説明し了解を 得た上で、児童発達支援計画に記載して いるか。		○	・虐待防止委員会で、通所部門の身体拘束マニュアルを作成中です。現在、対象になる子どもがいないため、支援計画への記載はしていませんが、身体拘束について定期的に話し合っています。